

No.とプログラム名	No.31 子ども薬剤師体験セミナー
実施日・回数	8月8日（木）午前、午後 計2回実施
会場	【戸塚区】横浜薬科大学 模擬薬局
参加児童数	13人
企業・団体等名	横浜薬科大学
参加の目的 (150文字程度)	薬の歴史や薬剤師の職能について講義で学び、調剤など一部の仕事を体験することで社会参加のきっかけとする。フィードバックでは主体的に対話することで体験をより深い学びとする。体験セミナーとして、体験準備（手指消毒）、モバイルファーマシーでの災害医療、錠剤調剤、服薬指導の領域を教員が個別に付き添い体験する。

■ プログラム内容

講義（講座）

実習1：（手指消毒、モビルフーマシー見学）

実習2：（調剤、服薬指導）

修了：（振り返り／認定証、アンケート）

■ 当日の流れ（簡単に記載してください）

受付～講座～実習1～実習2～修了



（講義を受講する様子）



（手指消毒の様子）

■ 参加児童の様子や意見、感想など

- ・ 薬を作って渡したりするのが面白かった。
- ・ モバイルファーマシーという災害時の車に入れてよかった。
- ・ 錠剤の一包化をするのが楽しかった。
- ・ しっかりと手を洗えたかを確認できるのが面白かった。
- ・ 薬剤師の歴史や薬のことが知れてよかった。



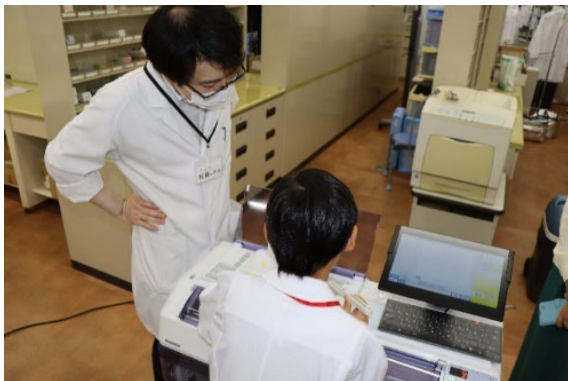
(モバイルファーマシー災害医療体験)



(服薬指導の様子)

■ 企業・団体の気付きや感想など

例年、学生の主体性を尊重したイベントにしてまいりましたが本年は、日程の都合で学生が参加できない状態でした。このイベントは学生も学びの場となり参加者の小学生に教えることで薬剤師の職能を改めて見直す機会となりました。しかし、教・職員が一体となり小学生一人に教員一人をつけたことにより、質問しやすい環境となったためか、気楽に質問ができ感想なども積極的に話されていました。また、プログラムの内容で保護者に服薬指導や問診をする場を作ったことで、子供たちが自立し対等に保護者と会話できる場となりました。保護者からも好意的な感想が多く寄せられました。本プログラムで子どもたちの主体性の場となっただけでなく、薬学の面白さや薬剤師の職業について学ぶ機会を作ることができ、薬剤師になる動機づけの場となった子供もいたことは、薬学部の学生や大学職員にとっても励みとなりました。



(機械による錠剤の一包化を体験する様子)



(修了後、子ども薬剤師認定証を受領する様子)